

# 第15回 記念大会

## 関西CT技術シンポジウム

日時：平成19年 2月17日(土) 13:40~18:00

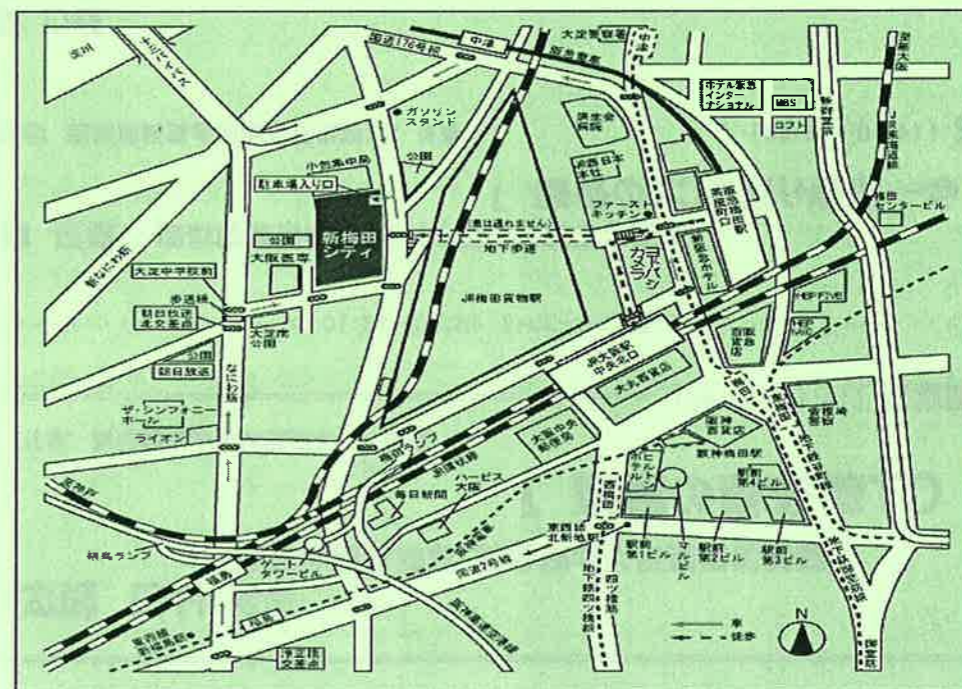
場所：梅田スカイビルタワーウエスト3F 梅田ステラホール

大阪市北区大淀中1-1-88 TEL:06-6440-5037

会費：1,000円(会場整理費)

【梅田スカイビル(新梅田シティ)】

JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄御堂筋線 梅田駅より徒歩10分



共催：関西CT技術シンポジウム

エーザイ株式会社

### ◆次回開催予定◆ 『第16回 関西CT技術シンポジウム』

日時：平成19年 8月25日(土)

場所：梅田スカイビル タワーウエスト 36F Lルーム

#### 関西CT技術シンポジウム幹事一覧 (アイウエオ順)

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 伊沢 一郎        | 兵庫県立姫路循環器病センター          |
| 今井 方丈        | 滋賀医科大学医学部附属病院           |
| 菊元 力也        | 洛和会 音羽病院                |
| 琴浦 規子        | 兵庫医科大学病院                |
| 佐藤 和彦        | 大阪大学医学部附属病院             |
| 辻 貴裕         | 天理よろづ相談所病院              |
| 中山 功         | 滋賀県立小児保健医療センター          |
| 西村 正樹        | 武田病院グループ(本部) 医療技術部      |
| 枚田 敏幸        | 済生会滋賀県病院                |
| 松本 貴         | 医療法人・社団ハイメディッククリニックWEST |
| 水野 吉将        | 奈良県立三室病院                |
| 吉川 秀司 (代表幹事) | 大阪医科大学附属病院              |
| 渡辺 晋一        | 大阪市立大学医学部附属病院           |



指定医薬品・処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

**非イオン性造影剤** 【薬価標準収載】  
**イオメロン** 300, 350, 400  
〈イオメプロール注射液〉 lomeron®  
内容量：20mL, 50mL, 100mL



指定医薬品・処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

**非イオン性造影剤** 【薬価標準収載】  
**イオメロン** 300シリンジ, 350シリンジ  
〈イオメプロール注射液〉 lomeron® Syringe  
内容量：50mL, 75mL, 100mL



指定医薬品・処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

**非イオン性MRI用造影剤** 【薬価標準収載】  
**プロハンス** 注  
〈ガドテリドール注射液〉 ProHance®  
内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL



指定医薬品・処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

**非イオン性MRI用造影剤** 【薬価標準収載】  
**プロハンス** シリンジ  
〈ガドテリドール注射液〉 ProHance® Syringe  
内容量：13mL, 17mL

製造販売元 プラック・エーザイ株式会社  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元 エーザイ株式会社  
〒112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10  
<http://www.eisai.co.jp>

提携先 BRACCO プラック インターナショナル

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室  
TEL:0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、副作用等を含む  
使用上の注意等については添付文書をご参照ください。  
ZO 0504-4 2015年4月作成

# 第15回記念大会 関西CT技術シンポジウム プログラム

日時：平成19年 2月17日（土） 13:40~18:00  
場所：梅田スカイビルタワーウエスト3F 梅田ステラホール  
大阪市北区大淀中1-1-88 TEL:06-6440-5037  
会費：1,000円（会場整理費）

## ..... < 講演プログラム > .....

総合司会：大阪大学医学部附属病院 佐藤 和彦

### 最新の話・安全性情報 (13:40~14:00)

エーザイ株式会社

開会の辞 代表幹事 大阪医科大学附属病院 吉川 秀司

講演1 (14:00~14:40) 座長：医療法人・社団ハイメディッククリニックWEST 松本 貴

『 診療報酬におけるCT等の評価と画像処理加算から見えること 』  
(社)日本画像医療システム工業会 経済部会 部会長(富士フィルムメディカル株式会社)  
野口 雄司 先生

講演2 (14:40~15:50) 座長：大阪市立大学医学部附属病院 渡辺 晋一

『 今一度振り返るCTの基礎 』  
大阪市立総合医療センター 中央放射線部 福西 康修 先生

..... < 休憩 コーヒー・ブレイク 15:50~16:10 > .....

特別講演 (16:10~17:40) 座長：大阪医科大学附属病院 吉川 秀司

『 CT新技術の展望 』  
藤田保健衛生大学医学部 放射線医学教室  
教授 片田 和広 先生

総括 (17:40~18:00)

開会の辞 医療法人・社団ハイメディッククリニックWEST 松本 貴

.....

## << 講演内容のご紹介 >>

### 【講演1】

演者：(社)日本画像医療システム工業会 経済部会 部会長(富士フィルムメディカル株式会社)  
野口 雄司 先生

平成18年度の診療報酬改定では特に「CTやMRIの撮影料の二層化評価」と「画像処理加算の疑義解釈」をあげることが出来る。  
点数の二層化についてはどのような議論と思惑が背景にあったのか点数設定の根拠性が問われるときに、きわめて重要である。そしてこの新たな評価の取り組みと考え方は20年度改定に向けどのように進化しようとしているのか。論点を改めて整理していきたい。  
次に、「画像処理加算」の疑義解釈である。いまだこの解釈にあっては正しく理解されているか疑問である。ここで議論となるのが、改正薬事法で診断機器同様、重要な役割を担っている医療機器の一品目として新たなカテゴリーを与えられた「汎用画像診断装置ワークステーション」の取り扱いである。「画像処理」とは深く関係することになるのだが、医療機器としての当該カテゴリーの意義は医療安全の確保という視点で考えても、その位置づけは明確である。  
以上二課題について直近の情報を交えて解説していく。

### 【講演2】

演者：大阪市立総合医療センター 中央放射線部 福西 康修 先生

ハードの進歩とともに、速さと緻密さを兼ね備えたCTはマルチスライスCTの登場によって今や一般撮影の領域にまでその利用範囲が広がろうとしている。  
従来装置に比べ飛躍的に向上した性能、そして最適な撮影を行うための様々な支援機能の充実。とすれば何の知識のないものが操作しても何の問題もなく検査が行えるように思われがちである。しかしその感覚はまったくの勘違いである。従来のCT装置とは比較にならないほどの多種多様のパラメータ。ピンポイントで行うことが可能になった検査は些細なミスでその目的を容易に失ってしまう。また有り余るX線管球のパワーはいつも簡単に過剰な被ばくを患者に与える。  
過剰な美しさを求めたCT画像がもてはやさせる今だからこそ、その操作をつかさどる私たち診療放射線技師がCT画像の基礎をしっかりと把握し、エビデンスに基づいた画質、さらにはエビデンスに基づいたCT検査を行わなければならない。ここでは目的に応じた最適な画質の単純・造影CT画像を作るための様々なパラメータについてその影響と考え方をお話しします。

### 【特別講演】

演者：藤田保健衛生大学医学部 放射線医学教室 教授 片田 和広 先生

CTはヘリカルスキャンとマルチスライスCTの導入により、大きく進歩した。とくに64列マルチスライスCTは、高分解能等方性ボリュームデータ診断の普及に多大な役割を果たしている。  
このような状況下で、デュアルソースCT、面検出器CT、エネルギーサブトラクション、マイクロCTなど、多くの新しい技術導入が進みつつある。  
本講演では、これらの新技術が目指すものと問題点は何かについて解説する。また、これら新技術により我々の臨床業務はどのような影響を受けるかについても概観する。